

令和4年度病虫害発生予察情報 注意報 第4号

令和4年7月14日
岩手県病虫害防除所

**斑点米カメムシ類が平年より多く発生しています。
水稻の出穂10～15日前までに、水田畦畔や雑草地、
農道の除草を必ず実施し、斑点米カメムシ類の密度を低下
させましょう。**

- 1 対象作物、病虫害 : 水稻、斑点米カメムシ類
- 2 対象地域 : 県下全域
- 3 発生時期 : 早
- 4 発生量 : 多
- 5 予報の根拠

- (1) イネ科牧草であるイタリアンライグラス（写真）主体の牧草地では、アカスジカスミカメ成虫の発生が平年よりも多い（図1）。
- (2) 7月上旬の水田畦畔すくい取り調査（39圃場）では、斑点米カメムシ類の発生圃場率は71.8%（平年38.7%）、発生程度中以上の圃場率は15.1%（平年3.3%）であり、いずれも過去10年間で最も高い（図2）。
- (3) 畦畔の除草が未実施の圃場で、斑点米カメムシ類発生密度が高い（図3）。
- (4) 現時点で予測されるアカスジカスミカメ第1世代、第2世代成虫の羽化盛期は平年より早い（表1）。



写真 イタリアンライグラスに寄生する
アカスジカスミカメ（成虫）

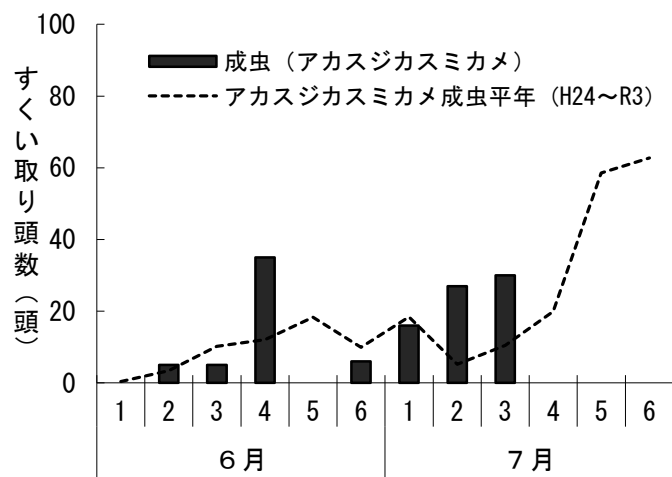


図1 牧草地におけるアカスジカスミカメ成虫の発生
推移（7月第3半旬現在、農研センター内イタリ
アンライグラス作付圃場、往復20回振）

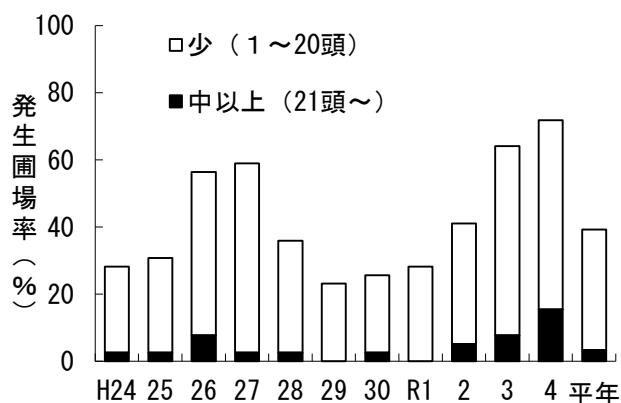


図2 斑点米カメムシ類の発生圃場率

(7月上旬巡回調査、水田畦畔、往復20回振)

※斑点米カメムシ類とは、アカスジカスミカメ成虫とアカヒゲホソミドリカスミカメ成虫とカスミカメムシ類幼虫の合計(図3も同上)

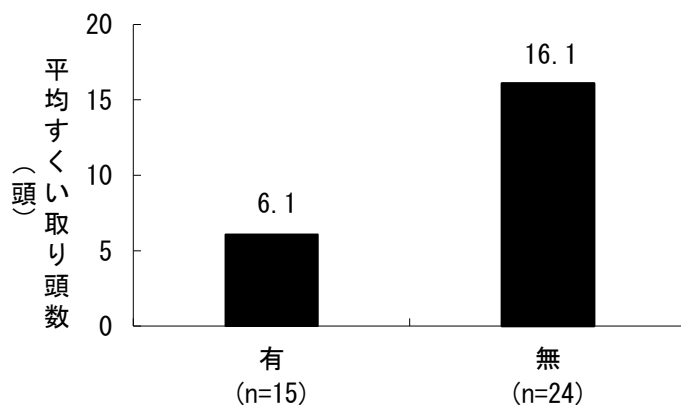


図3 水田畦畔の除草の有無と斑点米カメムシ類平均すくい取り頭数

(7月上旬巡回調査、水田畦畔、往復20回振)

表1 アカスジカスミカメ成虫の発生予測

年次	第1世代	第2世代
R4	7/17(予測)	8/13(予測)
平均	7/26	8/22

※有効積算でのR4の起点は「越冬世代羽化盛期(6/18)」、平均値(H24~R3)の起点は「越冬世代羽化盛期(6/23)」とした。

※有効積算の予測に用いた最高気温、最低気温(6/18~7/12)は、アメダスの実測値。

7/13以降は過去10年間のアメダス実測値の平均を用いて計算した。

6 防除対策

- (1) 水稻出穂期に本田内へ侵入するカメムシ類の密度を低下させるため、水稻の出穂10~15日前までに水田畦畔や雑草地、農道の除草を必ず実施する。
- (2) 地域内にイネ科雑草が残されていると、カメムシ類の発生源となり近隣の圃場に侵入するので、草刈りは地域一斉に行う。
- (3) 本田内のノビエ、イヌホタルイ、シズイ等の雑草は、アカスジカスミカメの発生源となって被害を助長するので、これら雑草がある圃場では本田内の除草を徹底する。

☆農薬危害防止運動実施中(6/1~8/31)☆

【利用上の注意】

- ・ 農薬は、使用前に必ずラベルを確認し、使用者が責任を持って使用しましょう。
- ・ 農薬使用の際は(1)使用基準の遵守(2)飛散防止(3)防除実績の記帳を徹底しましょう。

【情報のお問い合わせは病害虫防除所まで】 TEL 0197(68)4427 FAX 0197(68)4316

☆この情報は、いわてアグリベンチャーネットでもご覧いただけます。

<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/boujo/index.html>

